

令和３年度第１回みよし市まち・ひと・しごと創生会議 次第

審議の日程：令和３年９月１３日(月)から
令和３年９月３０日(木)まで
※書面開催

議 題

１ みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

(１) 第１期総合戦略の検証について【資料１－１】

(２) 第２期総合戦略の検証について【資料１－２】

２ みよし市ＳＤＧｓオリジナルロゴマーク制作事業について【資料２】

第1回みよし市まち・ひと・しごと創生会議 協議書

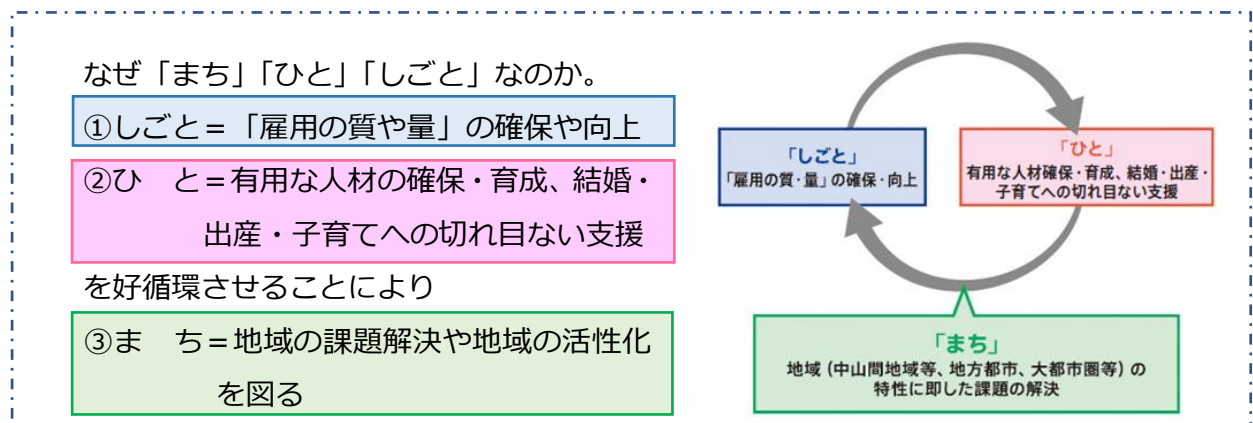
まち・ひと・しごと創生会議の説明（初めてご参加いただく方はお読みください。）

1 「まち・ひと・しごと創生」とは

日本全体の人口は、平成20年をピークに減少局面に入っています。

この人口減少の背景には、比較的出生率の高い地方から出生率の低い東京圏への人口の一極集中が要因の一つとされています。このまま各地域の人口が急激に減少することで、将来的には経済規模の縮小や生活水準の低下などを招くことが懸念されています。

こうした人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度な集中を是正し、各地域の特徴や魅力を活かし、自立的で持続可能な社会を創ろうとするものです。



2 「まち・ひと・しごと創生」に関するみよし市のこれまでの取組

平成26年に施行された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、みよし市の人口の将来展望を提示する「みよし市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」及び平成27年度から令和2年度までの基本目標や具体的施策を提示する「みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年度に策定し、以降、掲げる施策について、取り組んできました。

令和2年度において、みよし市まち・ひと・しごと創生会議を3回開催（書面会議含む）し、令和元年度時点までの第1期総合戦略の進捗状況、国や県の総合戦略等を踏まえ、SDGsや新しい生活様式等のこれまでになかった視点を加えて、令和3年度から令和7年度までを計画期間とする「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

協議事項 1 みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

(1) 第 1 期総合戦略（平成 27 年度～令和 2 年度）の検証について【資料 1－1】

平成 27 年度から令和 2 年度までを計画年度とした「第 1 期みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間全体（6 年間）の実績を検証した資料です。各数値目標、基本的施策ごとに検証を行いました。

この資料については、市のホームページで公開する予定です。内容を御確認いただき、御指摘、御意見や御感想、御質問等、どのような内容でも構いませんので回答書の御記入をお願いいたします。

ア 数値目標について

資料 1 ページ、7 ページ、13 ページについては、各基本目標に対する数値目標で、毎年実施している行政評価アンケートの回答を基に評価しています。

満足度（「満足」「やや満足」の合計）で比較をすると、毎年減少傾向となっておりますが、「年々『普通』の選択者が増加していること」が原因であると考えられるため、平準化した比較を行うため「満足度割合（回答全体から「普通」を除き、「満足」「やや満足」が全体に占める割合）」で再評価し、緑の折れ線グラフで示しています。

ほぼ全ての項目において、平成 29 年度以降の満足度割合はほぼ 85%前後で推移しておりますが、7 ページ「安全で快適な住環境が整ったまちづくりの満足度割合」だけは著しく低い割合となっております。アンケート結果から「交通の便の悪さ」「高齢者の足の不安」等が数多く挙げられていることから、「公共交通政策の充実」が今後より強化すべき課題であると判断しており、第 2 期総合戦略に継承しています。

イ 「基本的施策」について

資料 2～6 ページ、8～12 ページ、14～16 ページは、基本施策（各基本目標を実現するために重点的に取り組むべき施策）です。

各基本施策について、計画期間全体（6 年間）の指標の推移を折れ線グラフで表しています。「目標値」と「実績」に乖離がある項目については、各グラフの下にそれぞれ理由等を記載しています。令和 2 年度のみ低い施策についてはコロナ禍の影響が原因となっております。

ウ 「令和 2 年度における基本的施策の評価まとめ」について

各基本的施策の令和 2 年度達成割合評価「C」の項目（実績値が目標値の 60%未満）については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う事業中止や延期、施設の閉館や休館に伴うものでした。

「第 1 期みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の確認が必要な場合は、恐れ入りますが下記から参照をお願いします。

<http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/kikaku/tihosousei/documents/sougousenryakukaitei.pdf>

(2) 第2期総合戦略の検証について【資料1-2】

昨年度、本会議において御協議いただき策定をさせていただいた「第2期みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略（計画期間：令和3年度～令和7年度）」の計画開始直前（令和2年度末）の実績について掲載をしています。

「基準値（R元）→目標値（R7）の方向性」と「実績（R2）」に乖離がある項目について、網掛けをしています。こちらも第1期総合戦略における数値と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い実績が低迷している項目が多くみられます。

今後もコロナ禍の影響が長く続く場合、又は回復した場合、どちらでも対応ができるような柔軟な施策の展開が必要であり、また、今後の状況によっては目標値等の見直しも必要であると事務局では考えています。

現状値を踏まえ、今年度から開始したばかりの第2期総合戦略を推進していく上で改善した方がよい点、より強化すべき点等、それぞれの立場から御意見をいただければと考えています。

「第2期みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は本年度からの出席者のみ同封しております。昨年度から出席いただいている方につきましては、3月に送付させていただきました冊子を御確認いただくか、下記から参照をお願いいたします。

<http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/kikaku/tihosousei/documents/dai2kisougousenryaku.pdf>

協議事項2 みよし市SDGsオリジナルロゴマーク制作事業について【資料2】

市役所の各部にわたる中堅職員により構成した「みよし市SDGs推進プロジェクトチーム」が、SDGsの推進に有効である事業を検討し、その中の提案事業の1つである「SDGsオリジナルロゴマーク制作事業」を今年度実施しました。ロゴマークについては、広報10月1日号にて公表をする予定です。

今後のみよし市のSDGsの展開方法やロゴマークの活用方法等、皆様から御意見等をいただけるとありがたいです。

協 議

次第に記載の協議事項について、上記の資料の説明を踏まえて資料を御確認いただき、御意見・御質問等ございましたら回答書に記入をお願いいたします。

（御意見がない場合についても、「意見なし」に「○」を付して必ず提出をお願いいたします。）

みよし市まち・ひと・しごと創生会議は、地方創生を効果的・効率的に推進していくために、幅広い年齢層の住民、産業界、行政、教育機関、金融機関、労働団体、メディア（産官学金労言）等で構成する組織です。（参加者名簿参照）

どのような内容でも構いませんので、それぞれのお立場から御忌憚のない御意見や御質問をいただければ幸いです。

御多忙の折大変恐縮ですが、よろしくお願いいたします。

第1回みよし市まち・ひと・しごと創生会議 回答書

みよし市長 小野田 賢 治 様

提出者氏名 _____

協議事項1 みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

(1) 第1期総合戦略の検証について【資料1-1】

意見あり ・ 意見なし (どちらかに○をお願いします。)

○質疑・意見等

該当箇所	御意見・御質問等	回答の要否 (どちらかに○)
		必要・不要
		必要・不要
		必要・不要

(2) 第2期総合戦略の検証について【資料1-2】

意見あり ・ 意見なし (どちらかに○をお願いします。)

○質疑・意見等

該当箇所	御意見・御質問等	回答の要否 (どちらかに○)
		必要・不要
		必要・不要
		必要・不要

(2枚のうち、1枚目)

提出者氏名 _____

2 みよし市SDGsオリジナルロゴマーク制作事業について【資料2】

意見あり ・ 意見なし (どちらかに○をお願いします。)

○質疑・意見等

該当箇所	御意見・御質問等	回答の要否 (どちらかに○)
		必要・不要
		必要・不要

3 その他、まち・ひと・しごと創生総合戦略全般にかかる御意見、御質問等

御意見・御質問等	回答の要否 (どちらかに○)
	必要・不要

※「回答の要否」欄において「必要」と御記入いただいた質疑や意見等については、後日事務局からの回答をさせていただきます。

※「質疑・意見等」の欄が不足する場合は、任意の様式や用紙を添付いただき、御記入をお願いいたします。

※郵送（同封の返信用封筒による）、ファクシミリ又は電子メール等により、9月30日（木）までに提出をお願いいたします。なお、御意見等がない場合においても、「意見なし」として提出してください。

【事務局連絡先】

みよし市役所政策推進部企画政策課 木戸

電 話 (0561) 32-8005

ファクシミリ (0561) 76-5021

電子メール kikaku@city.aichi-miyoshi.lg.jp

(2枚のうち、2枚目)

第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証

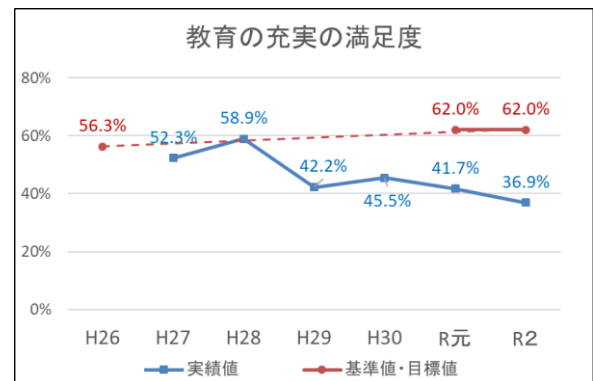
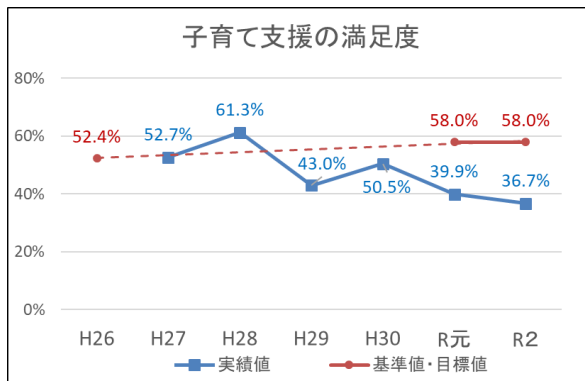
基本目標Ⅰ 安心して子育てできる環境づくり

安心して子どもを産み・育てることができる環境をみんなで築く

○安心して子育てできる環境づくりに向け、「安心して子どもを産み・育てることができる環境をみんなで築く」をスローガンとし、市民の子育て支援、教育の充実に対する満足度の向上をめざします。

◆数値目標

数値目標	基準値 (H26)	実績 (R2)	目標値 (R2)	達成割合	
				実績÷目標値	評価
子育て支援の満足度	52.4%	36.7%	58.0%	63.3%	B
教育の充実の満足度	56.3%	36.9%	62.0%	59.5%	C

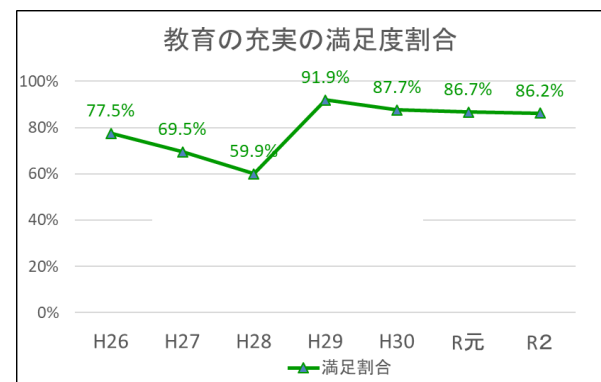
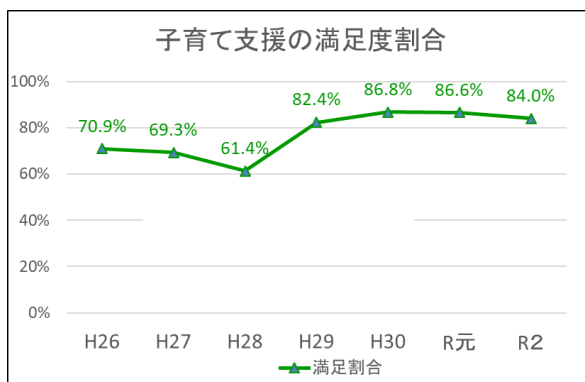


数値目標である「子育て支援」「教育の充実」の満足度（「満足」と「やや満足」の合計）については、平成28年度以降、増減を繰り返しながら下降傾向にあります。

この要因の1つとして、平成28年度以降の調査から設問の選択肢に「普通」が加えられ、「普通」を選択した方が年々増加していることが挙げられます。

より平準化して比較するため、満足度割合（※）で計算すると下表のとおりになります。

$$\text{満足度割合（※）} = (\text{満足} + \text{やや満足}) \div (\text{満足} + \text{やや満足} + \text{やや不満} + \text{不満})$$



「子育て支援の満足度割合」は平成30年度が86.8%、「教育の充実の満足度割合」は平成29年度が91.9%と最も高く、以降微減傾向ではありますが、85%前後と高い割合を維持しています。

◆基本的施策

I-① 結婚・出産の希望に関する支援

【基本的方向】結婚を希望する若者へのサポートや妊娠・出産に対する支援により、安心して子どもを産むことができる環境づくりを進めます。

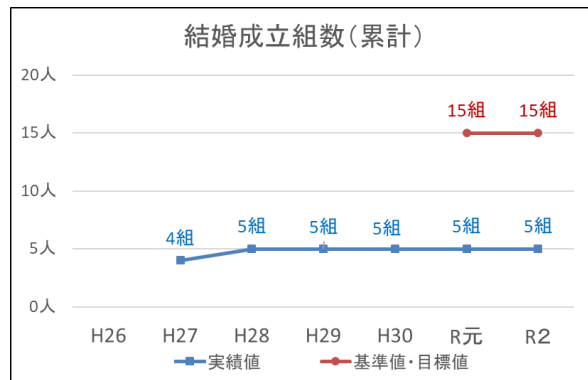
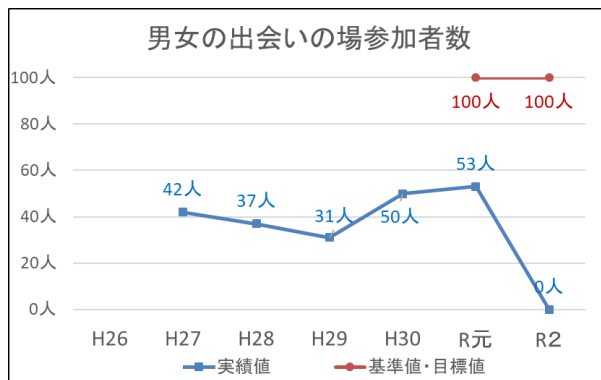
○取組内容

- ・男女の出会いの場の創出支援
- ・出産に対する支援の拡大

重要業績評価指標(KPI)

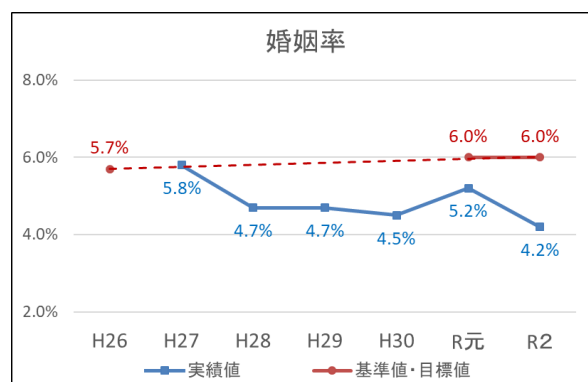
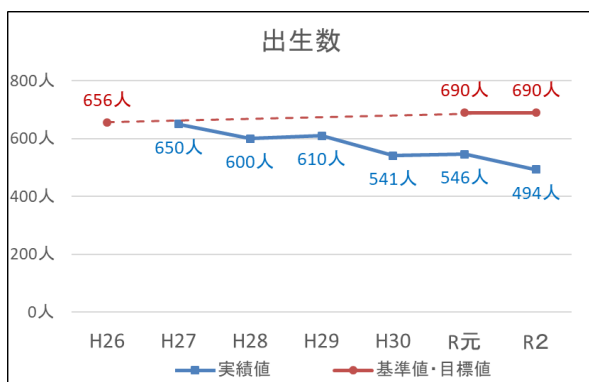
K P I	基準値 (H26)	実績 (R 2)	目標値 (R 2)	達成割合	
				実績÷目標値	評価
男女の出会いの場参加者数	—	—	100 人	0%	C
男女の出会いの場参加者による結婚成立組数(累計)	—	5 組	15 組	33.3%	C
出生数	656 人	494 人	690 人	71.6%	B
婚姻率※	5.7%	4.2%	6.0%	70.0%	B

※婚姻率：人口 1,000 人当りの年間婚姻件数



「男女の出会いの場参加者数」は平成 27 年度以降、増減しながら推移していましたが、令和 2 年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として行事開催を中止しました。

「結婚成立組数」は平成 28 年度に累計 5 組となり、以降は停滞しています。人々の結婚に対する意識が変容していることも要因の 1 つとして考えられます。



「出生数」「婚姻率」は、平成 27 年度以降減少傾向となっています。令和元年度はともに一旦微増となりましたが、令和 2 年度については新型コロナウイルスの影響もあり、再び減少しています。女性の就労率の増加に伴う未婚化や晩婚化、基準年度となる平成 26 年度以降の景気状況の悪化や新型コロナウイルス感染症の拡大による影響も減少の一因となっているものと考えられます。

I-②子ども・子育てに関する支援

【基本的方向】多様化する子育てニーズへの対応や家庭教育に対する支援などにより、保護者が安心かつ楽しんで子育てできる環境づくりを進めます。

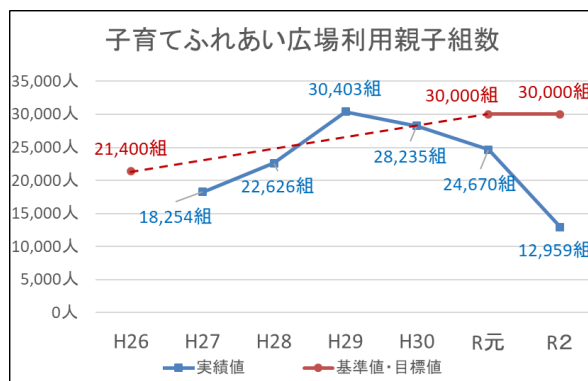
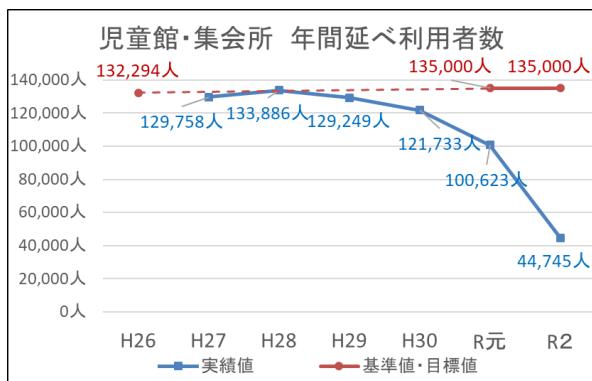
○取組内容

- ・母子保健対策の充実
- ・医療費助成対象の拡大
- ・子育てを楽しむ環境づくり
- ・保育サービスの充実
- ・多子世帯の経済的負担の軽減
- ・家庭教育の充実
- ・児童の健全育成

重要業績評価指標(KPI)

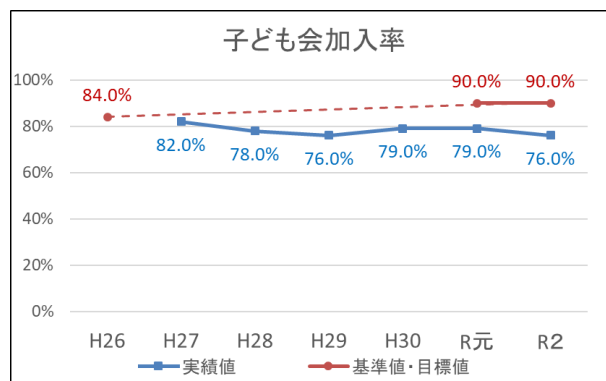
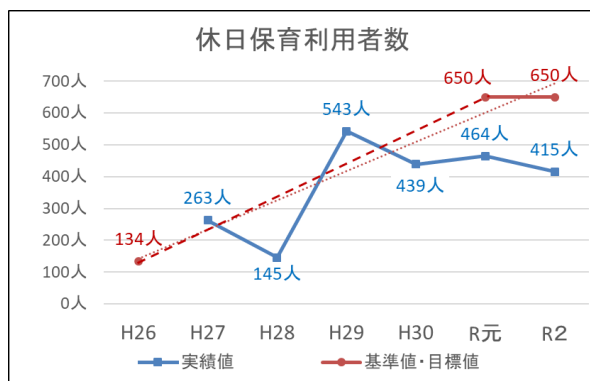
K P I	基準値 (H26)	実績 (R2)	目標値 (R2)	達成割合	
				実績÷目標値	評価
児童館・集会所年間延べ利用者数	132,294 人	44,745 人	135,000 人	33.1%	C
子育てふれあい広場年間延べ利用親子組数	21,400 組	12,959 組	30,000 組	43.2%	C
休日保育利用者数	134 人	415 人	650 人	63.8%	B
子ども会加入率※	84%	76%	90%	84.4%	A

※子ども会加入率：小学生人口に占める子ども会加入者数



「児童館・集会所年間延べ利用者数」は平成28年度に最も多く、平成29年度以降は下降傾向にあります。利用の対象となる18歳未満の子ども的人口減少、子どもの余暇の過ごし方の多様化が影響しているものと考えられます。

「子育てふれあい広場利用親子組数」についても平成29年度に最も多い利用者数となりましたが、以降は利用者数が減少しており、こちらも利用の対象となる幼児期の子どもの減少が一因となっているものと考えられます。「児童館・集会所」「子育てふれあい広場」とともに、令和2年度においては新型コロナウイルス感染症対策による一時閉館等が減要因となっています。



「休日保育利用者数」は、増減を繰り返していますが、平成 30 年度以降は 400 人台で推移しています。当初の予測より、家庭内での保育が可能である世帯が多く、休日保育のニーズが目標値ほど多くなかったことが原因であると考えられます。

「子ども会加入率」については、平成 27 年度以降増減しながらも減傾向にあり、徐々に目標値との差が大きくなっています。子ども会の加入対象となる小学校児童数、子どもの余暇の過ごし方の多様化、また、子ども会組織を支える親等の担い手不足も原因であると考えられます。

I-③ 学校教育の充実

【基本的方向】郷土を愛しともに学び合う、心豊かで心身ともに健やかな子どもの育成を目指し、子どもの成長を実感できる学校づくり・教育環境整備を進めます。

○取組内容

・教育環境の充実 ・魅力ある学校づくり ・良好な教育環境の整備

重要業績評価指標(KPI)

K P I		基準値 (H26)	実績 (R 2)	目標値 (R 2)	達成割合	
					実績÷目標値	評価
少人数学級(35人学級)の実施状況	小学校	1～3学年	全学年	全学年	100.0%	S
	中学校	1学年	全学年	全学年	100.0%	S
学校評価アンケートで「学校は楽しい」と回答した児童生徒の割合	小学校	92.1%	92.0%	95.0%	96.8%	A
	中学校	89.5%	89.5%	92.0%	97.3%	A
普通教室への空調機器設置率	小学校	—	100.0%	100.0%	100.0%	S
	中学校	—	100.0%	100.0%	100.0%	S

少人数学級（35人学級）の実施状況

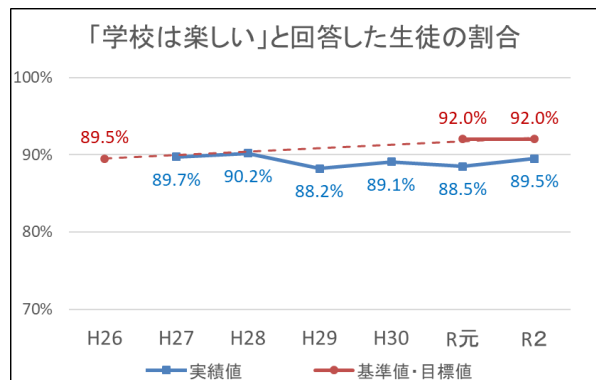
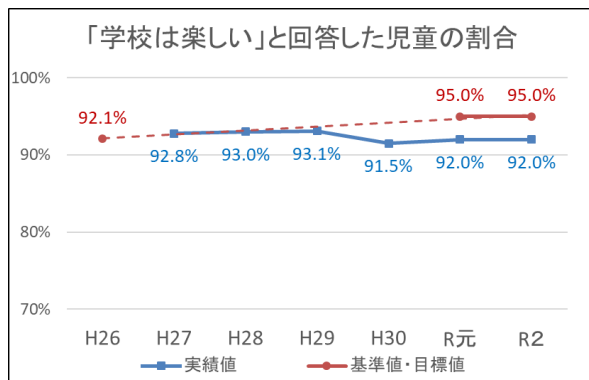
小学校

	H27	H28	H29	H30	R元	R2
実績値		全小学校(100%)設置				
基準値 目標値					100%設置	

少人数学級（35人学級）の実施状況は、小学校では令和元年度、中学校では平成29年度から全学年での実施を開始しています。

中学校

	H27	H28	H29	H30	R元	R2
実績値		全中学校(100%)設置				
基準値 目標値			100%設置			



学校評価アンケートにおいて「学校は楽しい」と回答した児童・生徒の割合については、小学校・中学校ともに目標値に近い数値でほぼ横ばいで推移していますが、目標値には達していません。今後もより多くの児童生徒に学校での楽しさを伝えられるよう、授業や学校活動においてさらなる工夫をしていく必要があります。

普通教室への空調機器設置率 小学校

	H27	H28	H29	H30	R元	R 2
実績値		全小学校(100%)設置				
基準値 目標値					100%設置	

中学校

	H27	H28	H29	H30	R元	R 2
実績値		全中学校(100%)設置				
基準値 目標値					100%設置	

「普通教室への空調機器設置率」については、中学校が平成 27 年度に、小学校が 28 年度に、それぞれ空調機器の設置が完了しています。

I-④ 仕事と生活の調和に関する支援

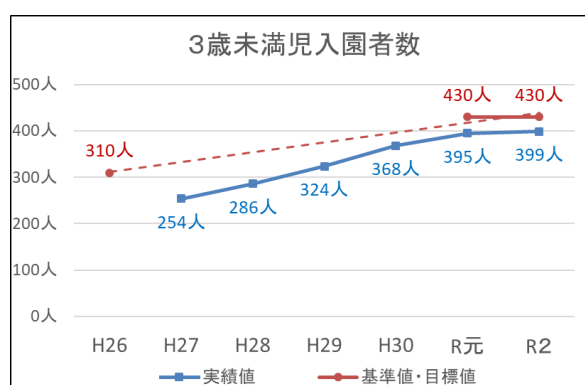
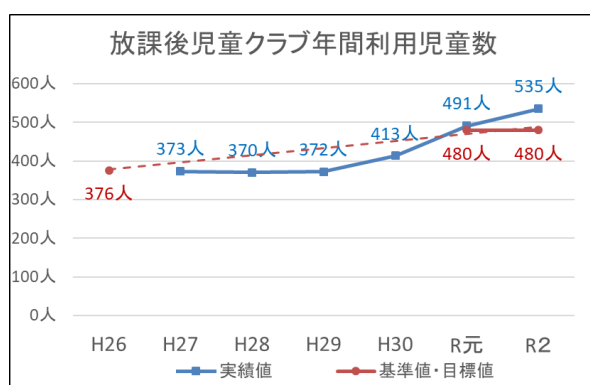
【基本的方向】仕事と子育ての両立や多様な働き方の選択など、働く親が子育てに喜びを感じ、安心して子どもを育てることができる環境づくりを進めます。

○取組内容

- ・育児サポートの充実
- ・子育て世代の就労支援

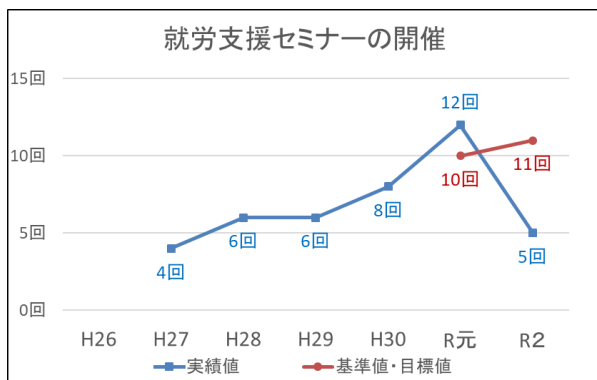
重要業績評価指標(KPI)

K P I	基準値 (H26)	実績 (R 2)	目標値 (R 2)	達成割合	
				実績÷目標値	評価
放課後児童クラブ年間利用児童数	376 人	535 人	480 人	111.5%	S
3 歳未満児入園者数	310 人	399 人	430 人	92.8%	A
就労支援セミナーの開催	—	5 回	11 回	45.5%	C



「放課後児童クラブ年間利用児童数」については、平成 27 年度以降増加し続けており、令和 2 年度には目標値を 55 人上回る実績値となっています。

「3 歳未満入園者数」についても平成 27 年度以降増加していますが、3 歳未満児の入園希望者と入園したい保育園を限定したことに伴う待機児童の増の影響もあり、目標値には達していません。



「就労支援セミナーの開催」は、平成 27 年度以降、開催回数が増加傾向にありましたが、令和 2 年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施回数を減らしたため、実績値が目標値を大幅に下回りました。

◆令和 2 年度における基本的施策の評価まとめ

達成度	S	A	B	C	合計
施策の件数	5 件	4 件	3 件	5 件	17 件
評価別件数割合	29%	24%	18%	29%	100%

達成度の凡例
 S：達成割合 $\geq$ 100%
 A：100% $>$ 達成割合 $\geq$ 80%
 B：80% $>$ 達成割合 $\geq$ 60%
 C：60% $>$ 達成割合

令和 2 年度における基本的施策は、S 及び A の割合の合計が 53% と例年よりも低い結果となりました。

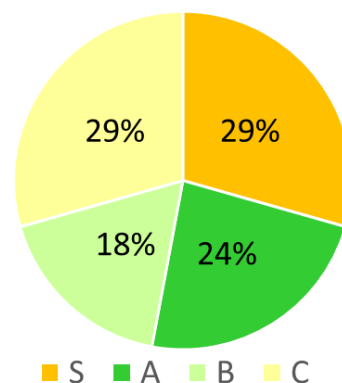
評価が C となった項目は、「男女の出会いの場参加者数」「児童館・集会所利用者数」「子育てふれあい広場利用親子組数」といった新型コロナウイルス感染症拡大の影響による事業の一時休止や施設の休館等に伴うものとなっています。

施策別にみると、「①結婚・出産の希望に関する支援」は、B 及び C がそれぞれ 2 件と、やや低い達成状況となっています。若者の結婚に対する意識の変化等も要因の一つになっていると考えられます。

「②子ども・子育てに関する支援」「④仕事と生活の調和に関する支援」は、新型コロナウイルスの影響による C 評価の項目以外は A 又は B となっており、概ね目標値に到達しています。

「③学校教育の充実」は全ての項目が S 又は A となっており高い達成率となっています。

これらのことから、「①結婚・出産の希望に関する支援」については、それぞれ対象者のニーズを適切に把握した上でさらに充実することが必要です。



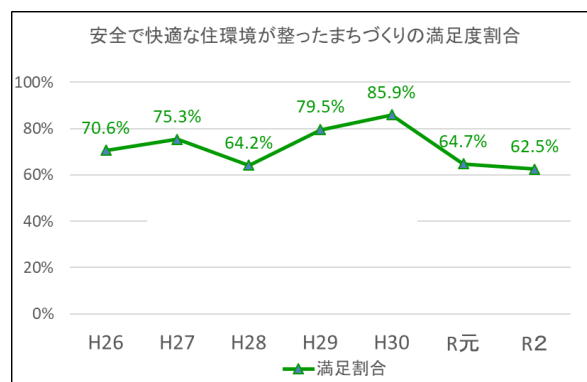
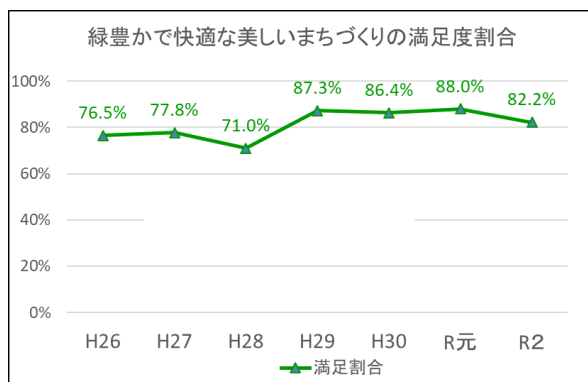
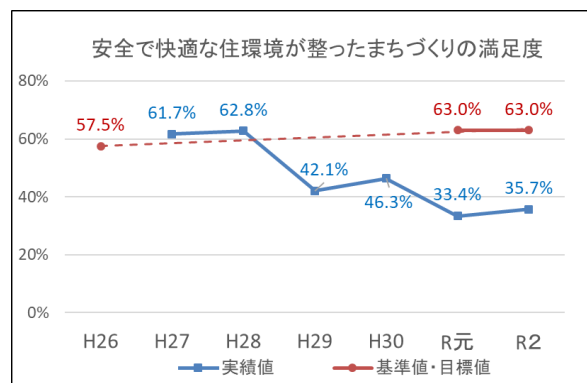
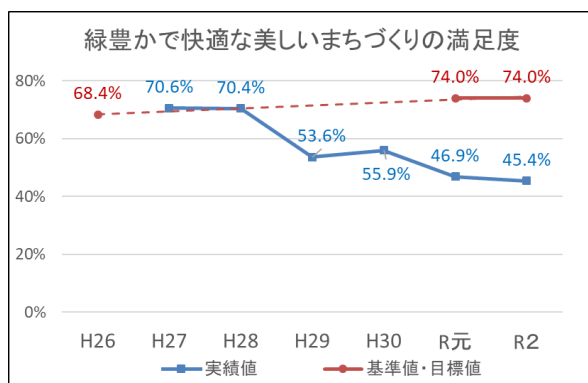
基本目標Ⅱ 暮らしたいと思える環境づくり

住んでみたい、住みやすい環境をみんなで築く

○暮らしたいと思える環境づくりに向け、「住んでみたい、住みやすい環境をみんなで築く」をスローガンとし、市民の緑豊かで快適な美しいまちづくり、安全で快適な住環境が整ったまちづくりに対する満足度の向上をめざします。

◆数値目標

数値目標	基準値 (H26)	実績 (R2)	目標値 (R2)	達成割合	
				実績÷目標値	評価
緑豊かで快適な美しいまちづくりの満足度	68.4%	45.4%	74.0%	61.4%	B
安全で快適な住環境が整ったまちづくりの満足度	57.5%	35.7%	63.0%	56.7%	C



「緑豊かで快適な美しいまちづくり」の満足度は、基本目標Ⅱと同様に、平成28年度を境に下降傾向となっています。

一方で満足度割合については、平成29年度が最高値となっており、以降ほぼ横ばいの状況が続いていますが、80%以上を維持しています。

「安全で快適な住環境が整ったまちづくり」の満足度は、平成28年度を境に下降傾向となっており、満足度割合についても平成30年度急激に下降しています。アンケート結果を見ると、「やや不満」と回答した方の割合が他の設問に比して多く、その理由として「交通の便が悪く、高齢者になってからの生活が不安」「買い物できる場所が少ない」等が挙げられています。

◆基本的施策

Ⅱ－① 多様な世代を誘引する仕組みづくり

【基本的方向】本市に住みたい・住んでよかった・住み続けたいと思えるような環境づくりを進めます。

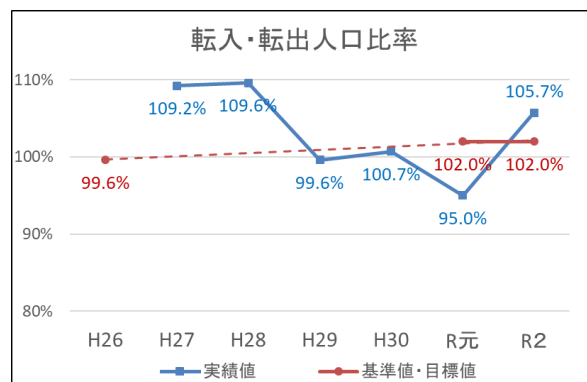
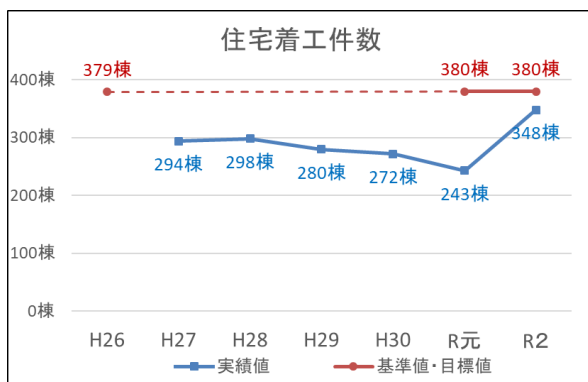
○取組内容

- ・住宅取得に関する支援
- ・世代循環の仕組みづくり
- ・雇用対策の充実
- ・企業誘致の推進
- ・創業の支援
- ・企業の競争力の強化の支援

重要業績評価指標(KPI)

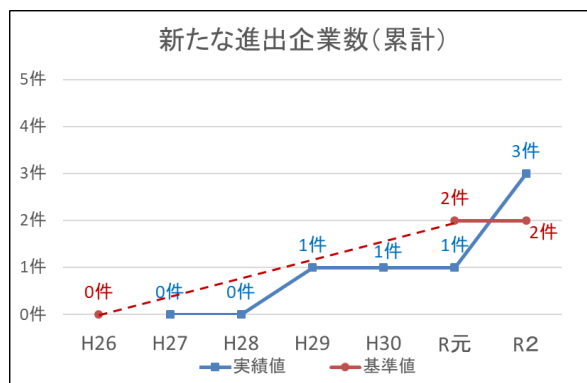
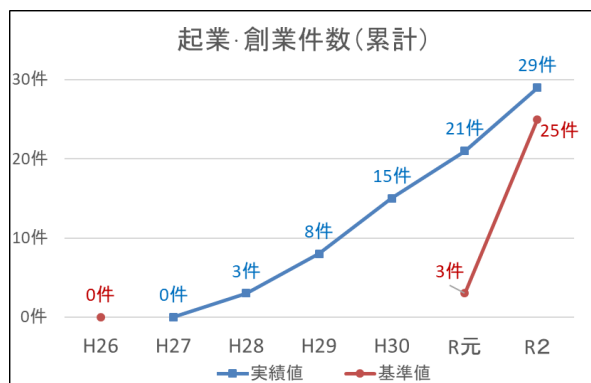
K P I	基準値 (H26)	実績 (R2)	目標値 (R2)	達成割合	
				実績÷目標値	評価
住宅着工件数	379 棟	348 棟	380 棟	91.6%	A
転入・転出口比率※	99.6%	105.7%	102.0%	103.6%	S
起業・創業件数(累計)	0 件	29 件	25 件	116.0%	S
新たな進出企業数(累計)	0 件	3 件	2 件	150.0%	S

※転入・転出口比率：転入者数/転出者数



「住宅着工件数」は目標値を下回っているものの、令和2年度では急激に伸び、目標値に近づいています。

「転入・転出口比率」については、令和元年度に市外への転出者が増加したことから大きく下降しましたが、令和2年度には市内への転入者が増加したことから、目標値を上回る結果となりました。



「起業・創業件数」「新たな進出企業数」については、ともに実績値が目標値を上回っています。

Ⅱ-② 公共交通ネットワークの確保

【基本的方向】市内の交通空白地帯の解消のため、鉄道や路線バス、タクシーなど異なる交通手段の連携強化により、公共交通の利便性の向上を推し進めます。

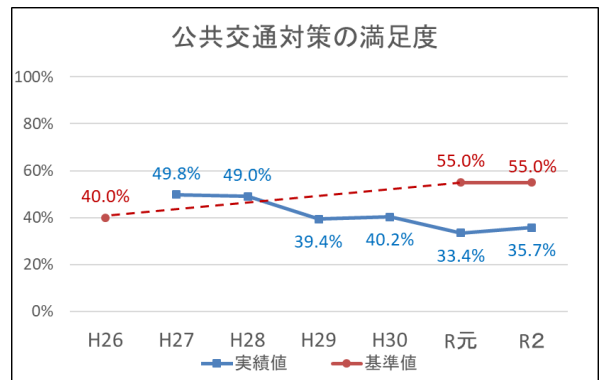
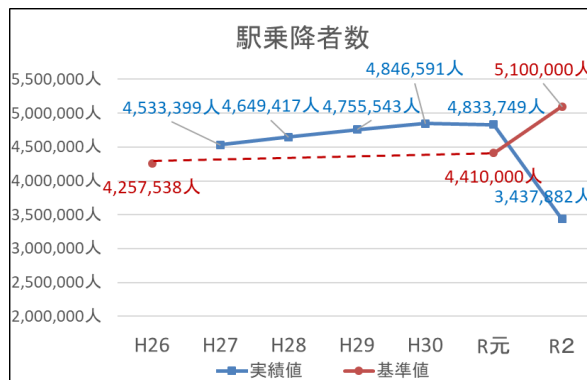
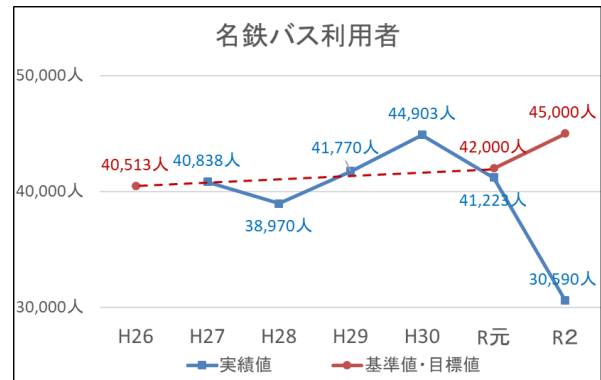
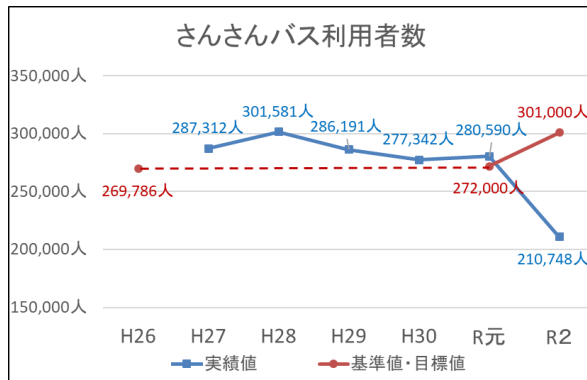
○取組内容

- ・公共交通の利便性の向上
- ・公共交通への利用転換

重要業績評価指標(KPI)

K P I		基準値 (H26)	実績 (R2)	目標値 (R2)	達成割合 実績÷目標値	評価
さんさんバス利用者数		269,786人	210,748人	301,000人	70.0%	B
公共交通利用者数	名鉄バス利用者※	40,513人	30,590人	45,000人	68.0%	B
	駅乗降者数	4,257,538人	3,437,882人	5,100,000人	67.4%	B
公共交通対策の満足度		40.0%	35.7%	55.0%	64.9%	B

※名鉄バス利用者：(イオン知立)愛教大線+イオン赤池線の合計



「さんさんバス利用者」「駅乗降者数」については、令和元年度までは実績値が目標値を上回っており、「名鉄バスの利用者」については、令和元年度まで増減を繰り返していましたが、令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響により全ての項目で利用者が減少しています。

「公共交通対策の満足度」については、平成28年度までは実績値が目標値を上回っていましたが、平成29年度以降は下降傾向となっています。行政評価アンケートで挙げられている「市内の交通の便の悪さ」「高齢者になってからの足の不安」などが満足度を引き下げる要因となっています。

Ⅱ-③ 安全・安心なまちづくり

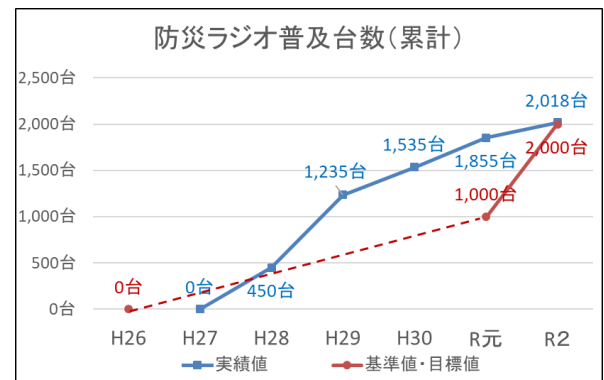
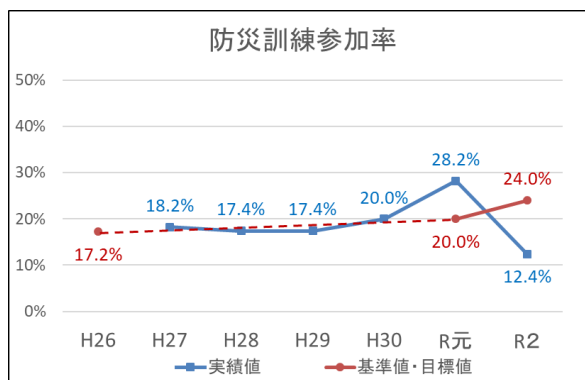
【基本的方向】自然災害に強く、犯罪や交通事故の少ない安全なまちを目指し、安全・安心に暮らせる環境づくりを進めます。

○取組内容

- ・防災力・減災力の向上
- ・防犯力の向上
- ・交通安全対策の推進
- ・公共施設配置等の最適化・長寿命化

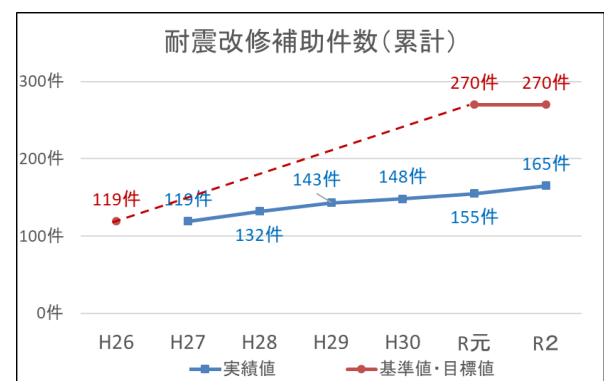
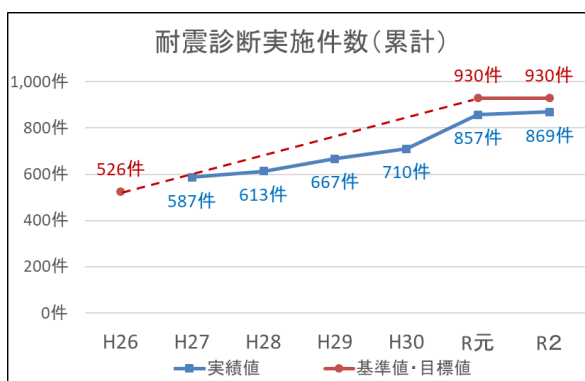
重要業績評価指標(KPI)

K P I	基準値 (H26)	実績 (R2)	目標値 (R2)	達成割合	
				実績÷目標値	評価
防災訓練参加率	17.2%	12.4%	24.0%	51.7%	C
防災ラジオ普及台数(累計)	—	2,018台	2,000台	100.9%	S
耐震診断実施件数(累計)	526件	869件	930件	93.4%	A
耐震改修補助件数(累計)	119件	165件	270件	61.1%	B
防犯灯設置数(累計)	2,200基	2,498基	2,390基	104.5%	S
安全のみどり線延長距離	7,772m	15,204m	17,000m	89.4%	A

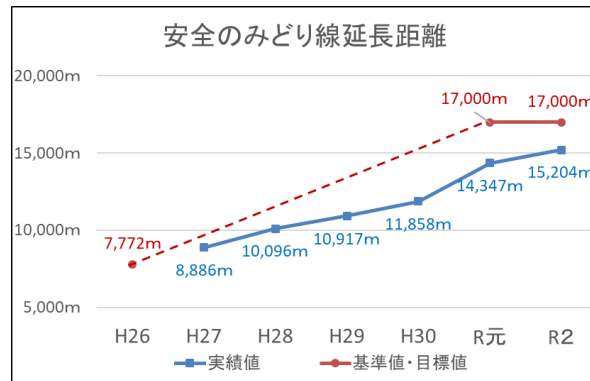
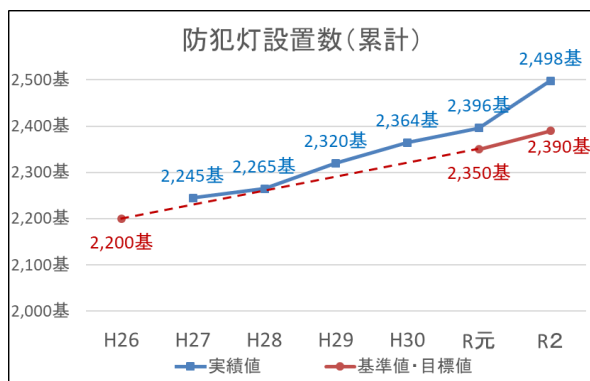


「防災訓練参加率」は、平成30年度まではほぼ目標値どおり、令和元年度は実績値が目標値を上回る実績となりましたが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために訓練の実施回数を減らしたことに伴い、参加率も減少しました。

「防災ラジオ普及台数」については、平成28年度以降、実績値が目標値を上回っており、目標を達成できています。



「耐震診断実施件数」については、平成 27 年度以降、目標値には達しないものの、着実に増加しており、徐々に制度が定着しているものと思われます。「耐震改修補助件数」については、件数の若干増加は見られますが目標値と実績値の乖離の幅が徐々に大きくなっています。建築物の耐震改修や除却が進んだことによる対象建築物の減少も減要因ですが、大規模地震等の災害による建築物の倒壊を防ぐことは重要なことであり、制度の一層の周知が必要です。



「防犯灯設置数」は、平成 27 年度以降実績値が伸びており、目標値を上回っています。

「安全のみどり線の延長距離」は、実績値に伸びは見られますが、目標値には到達していません。通学路の安全を守るため、今後も現地調査を継続して実施し、必要な箇所への整備を進める必要があります。

Ⅱ-④ 魅力と活力のあるまちづくり

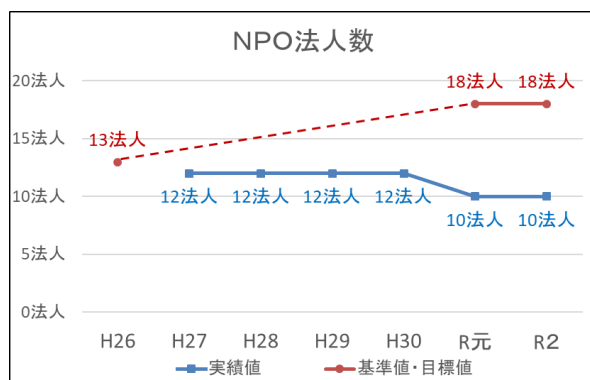
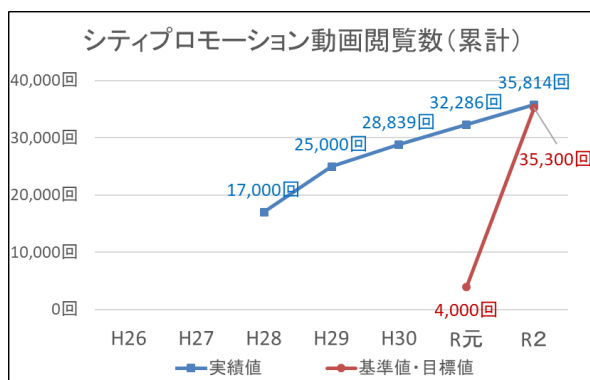
【基本的方向】みよしの歴史文化や社会資源を生かしながら、愛着と誇りをつくり培い、魅力と活力のある環境づくりを進めます。

○取組内容

- ・シティプロモーションの推進
- ・まちの魅力の向上
- ・総合交流拠点の整備
- ・まちの活力の向上
- ・地域づくり活動の活性化
- ・協働のまちづくり
- ・地産地消の推進
- ・みよし産農産物のブランド化の推進

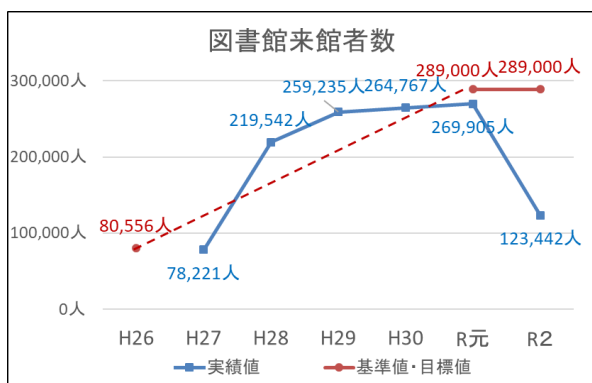
重要業績評価指標(KPI)

K P I	基準値 (H26)	実績 (R 2)	目標値 (R 2)	達成割合	
				実績÷目標値	評価
シティプロモーション動画閲覧数 (累計)	—	35,814 回	35,300 回	101.5%	S
NPO法人数	13 法人	10 法人	18 法人	55.6%	C
図書館来館者数	80,556 人	123,442 人	289,000 人	42.7%	C



「シティプロモーション動画閲覧数」は、着実に伸びており目標値を上回っています。

「NPO法人数」は、実績値に伸びは見られますが、目標値には到達しない数値となっています。持続的な協働事業の実施に向け、団体の育成を図りながら法人格取得に向けての試みを行っていますが、団体の法人化への意識の醸成にうまくつながっていないことが法人数停滞の要因となっています。



「図書館来館者数」は、平成28年7月の図書館学習交流プラザサンライズ開館以降、着実に伸びてきましたが、令和2年2月以降新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のための閉館、開館時間の短縮等を実施したことにより、令和元年度以降の実績が伸び悩んでいます。

◆令和2年度における基本的施策の評価まとめ

達成度	S	A	B	C	合計
施策の件数	6件	3件	5件	3件	17件
評価別件数割合	35%	18%	29%	18%	100%

達成度の凡例

S：達成割合 $\geq$ 100%
A：100% $>$ 達成割合 $\geq$ 80%
B：80% $>$ 達成割合 $\geq$ 60%
C：60% $>$ 達成割合

令和2年度における基本的施策は、S及びAの割合の合計が53%と例年より低い結果となりました。

評価がCとなった項目は、「防災訓練参加率」「図書館来館者数」「子育てふれあい広場利用者数」といった新型コロナウイルス感染症拡大の影響による事業の一時休止や施設の休館等に伴うものとなっています。

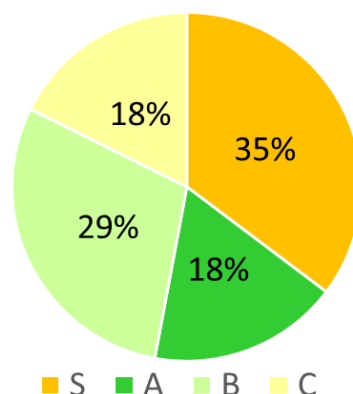
「①多様な世代を誘引する仕組みづくり」では、すべての項目がS又はAと高い評価となっており、今後も引き続きの推進が望めます。

「②公共交通ネットワークの確保」は、コロナ禍による利用者数の減が反映され、すべての項目がB評価となっておりますが、「公共交通対策の満足度」もBであることから、令和4年度に路線再編を行うさんさんバスを始めとする公共交通サービスの拡充などの質のさらなる向上を行い、誰もが使いやすい公共交通の整備を行うことが必要となります。

「③安全・安心なまちづくり」では、「防災訓練参加率」を除き比較的高い評価となっておりますが、「耐震改修補助件数」はBとなっており、耐震改修に向けた支援制度の周知が必要です。

「④魅力と活力のあるまちづくり」では、シティプロモーション動画閲覧数はSと高い評価となっておりますが、「NPO法人数」はCとなっております。地域課題を解決するための活動やその活動団体に対するさらなる支援の充実が必要となります。

これらのことから、公共交通の質の向上、激甚化する自然災害への対応、関係人口や交流人口を増加させる魅力あるまちづくりへの支援が必要となります。



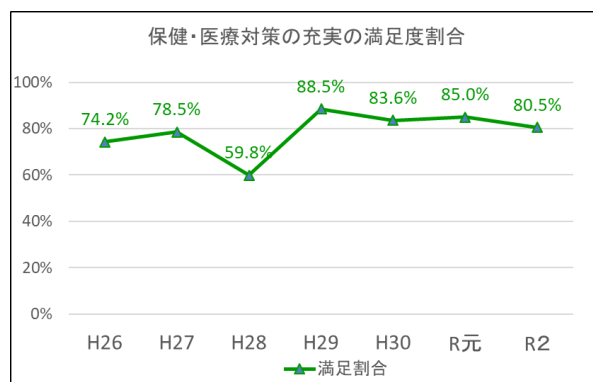
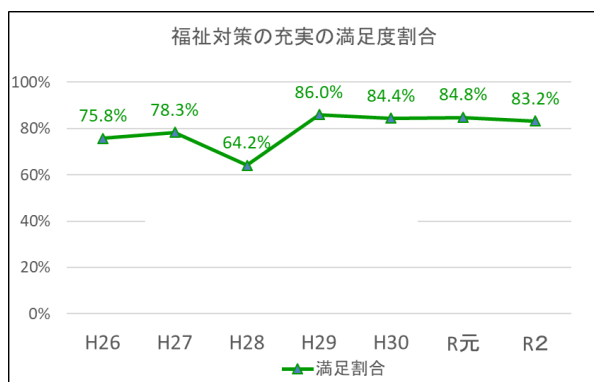
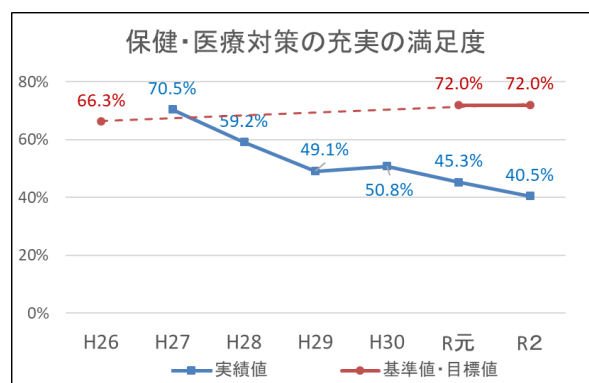
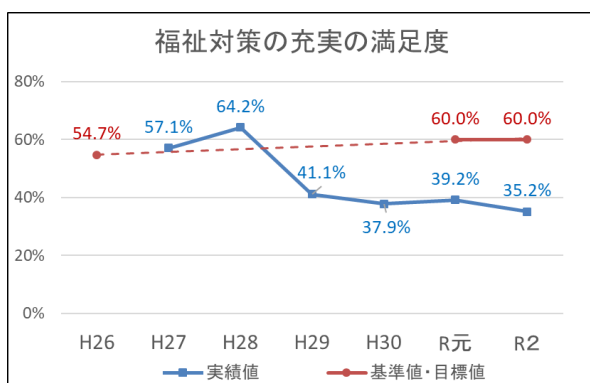
基本目標Ⅲ 誰もが健康に暮らせる環境づくり

子どもから高齢者まで主体的な健康づくりができる環境をみんなで築く

○誰もが健康に暮らせる環境づくりに向け、「子どもから高齢者まで主体的な健康づくりができる環境をみんなで築く」をスローガンとし、市民の福祉対策の充実、保健・医療対策の充実に対する満足度の向上をめざします。

◆数値目標

数値目標	基準値 (H26)	実績 (R2)	目標値 (R2)	達成割合	
				実績÷目標値	評価
福祉対策の充実の満足度	54.7%	35.2%	60.0%	58.7%	C
保健・医療対策の充実の満足度	66.3%	40.5%	72.0%	56.3%	C



「福祉対策の充実」の満足度は平成 28 年度を境に、「保健・医療対策」の満足度は平成 27 年度以降下降傾向となっています。

一方で満足度割合については、平成 29 年度がともに最高値となっており、以降 80%を超えた高い割合でほぼ横ばいの状況が続いています。

◆基本的施策

Ⅲ－① 健康づくりの支援

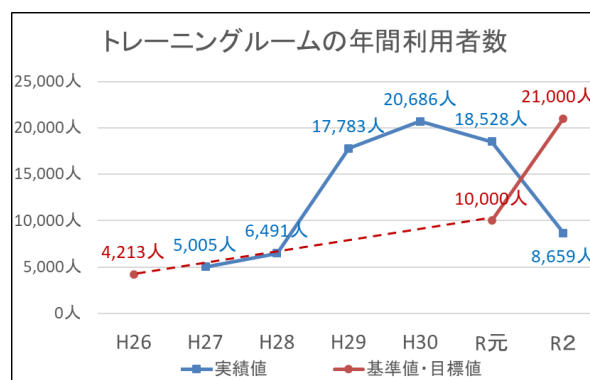
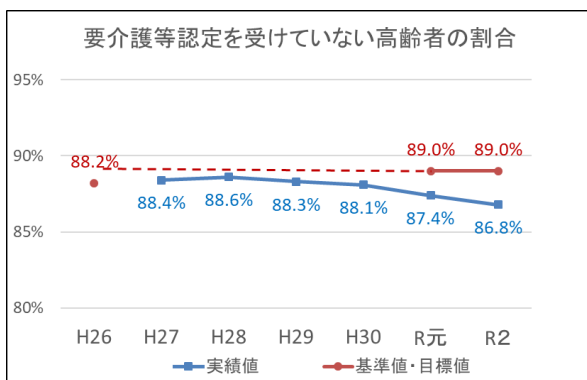
【基本的方向】市民誰もが健康でいきいきと、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。

○取組内容

- ・健康づくりの推進
- ・健康寿命の延伸
- ・介護予防・認知症予防の推進
- ・地域包括ケアシステムの構築
- ・スポーツによる健康づくり
- ・良好な運動環境づくり

重要業績評価指標(KPI)

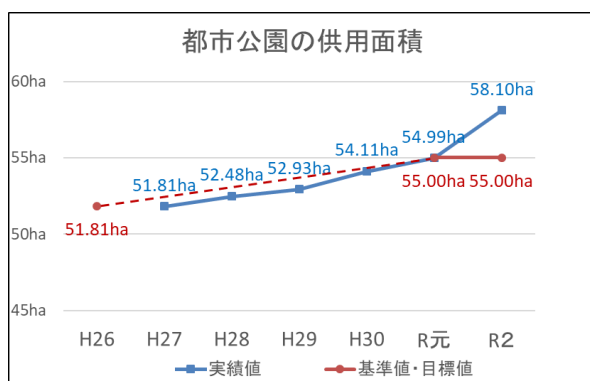
K P I	基準値 (H26)	実績 (R2)	目標値 (R2)	達成割合	
				実績÷目標値	評価
要介護(要支援)認定を受けていない高齢者の割合	88.2%	86.8%	89.0%	97.5%	A
地域包括支援センターの設置数	1 か所	3 か所	3 か所	100.0%	S
総合体育館トレーニングルームの年間利用者数	4,213 人	8,659 人	21,000 人	41.2%	C
都市公園の供用面積	51.81ha	58.10ha	55.00ha	105.6%	S



「要介護（要支援）認定を受けていない高齢者の割合」は、平成 28 年度を境に下降傾向となっています。後期高齢者の増加と介護保険制度の周知により市民の制度理解が進んだことが主な要因であると考えられます。

「地域包括支援センターの設置数」は平成 29 年度に 3 か所に分割し、目標値を達成しています。

「トレーニングルームの年間利用者数」については、平成 30 年度に最高値となりましたが、令和元年 2 月以降のコロナウイルス感染症拡大防止に伴う休館、会館時間の短縮、利用者制限の実施等のために令和元年度以降の実績値は減少傾向にあります。



「都市公園の供用面積」については、令和元年度まではほぼ目標値どおりの推移でしたが、令和 2 年度については黒笹山手地区の公園整備により当初の目標値を上回る実績となっています。

Ⅲ-② 生きがいくりの支援

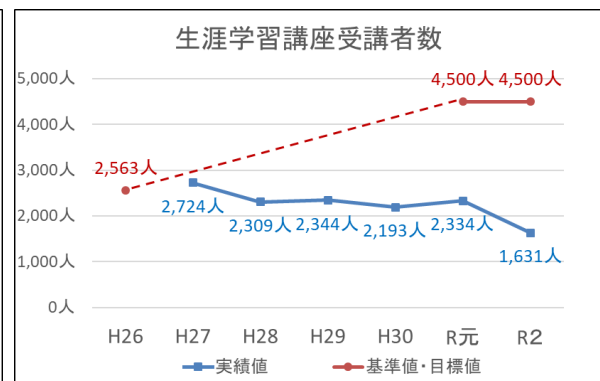
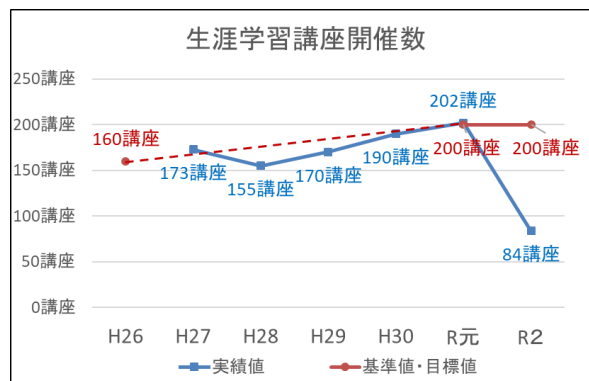
【基本的方向】市民誰もが生涯を通じ、いつでもどこでも生きがいを持って楽しく暮らせる環境づくりを進めます。

○取組内容

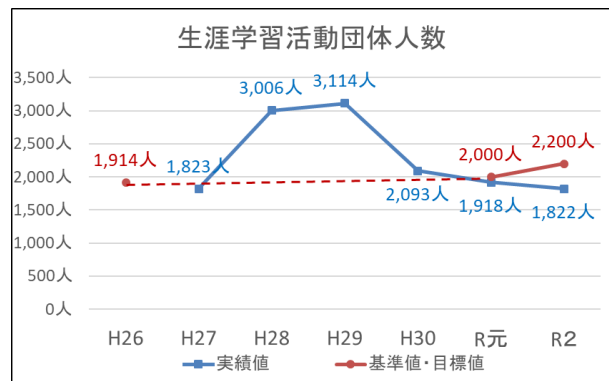
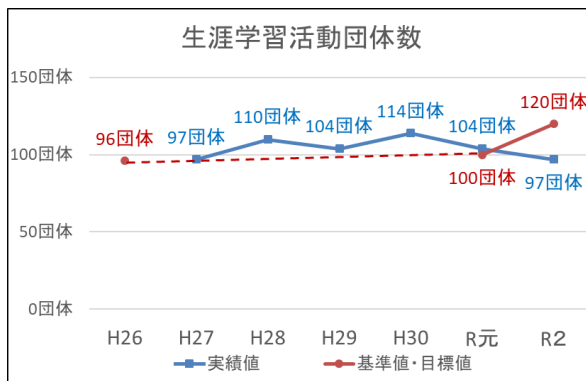
・生涯学習の支援 ・高齢者の活躍の場づくり ・ボランティア活動の支援

重要業績評価指標(KPI)

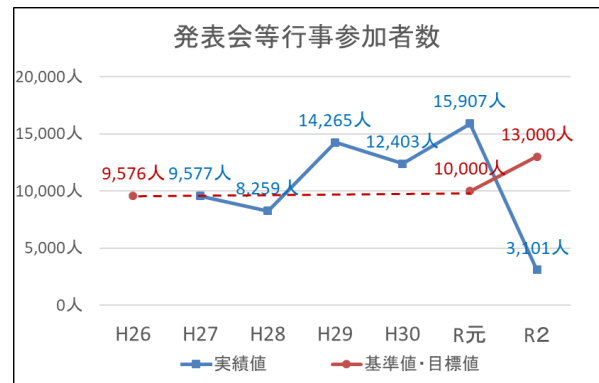
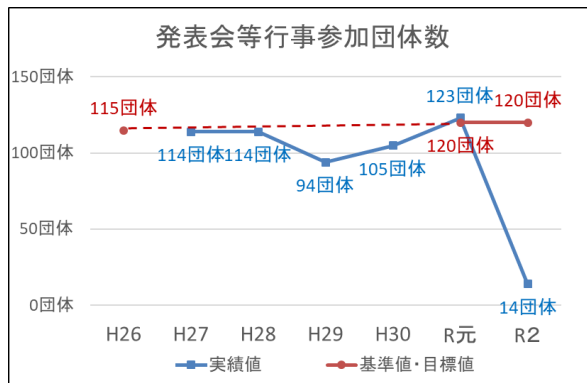
K P I	基準値 (H26)	実績 (R2)	目標値 (R2)	達成割合	
				実績÷目標値	評価
生涯学習講座数及び受講者数	160 講座	84 講座	200 講座	42.0%	C
	2,563 人	1,631 人	4,500 人	36.2%	C
生涯学習活動団体数及び人数	96 団体	97 団体	120 団体	80.8%	A
	1,914 人	1,822 人	2,200 人	82.8%	A
発表会等行事参加団体数及び参加者数	115 団体	14 団体	120 団体	11.7%	C
	9,576 人	3,101 人	13,000 人	23.9%	C
福祉ボランティアの活動件数	314 件	68 件	330 件	20.6%	C
シルバー人材センターの登録会員数	367 人	387 人	405 人	95.6%	A



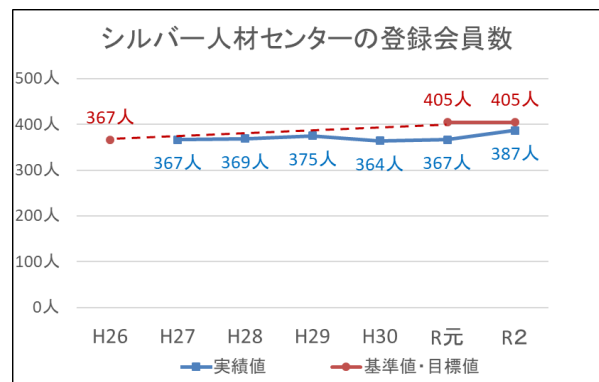
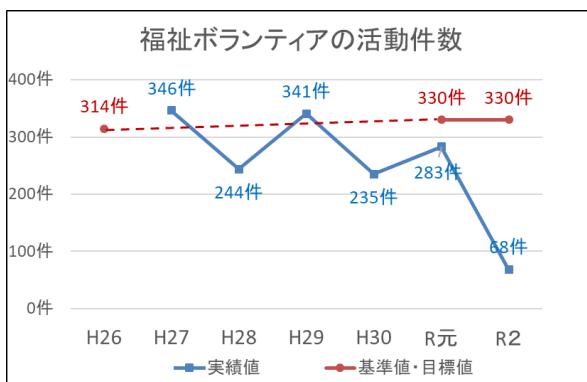
「生涯学習講座の開催数」については、コロナ禍の影響があった令和2年度以外は目標値に沿った事業推進をしており、開催講座数を増加してきました。「生涯学習講座受講者数」については講座の内容の性質上少人数での開催をした講座も多く、目標値を達成することができませんでした。



「生涯学習講座の活動団体数」「生涯学習活動団体人数」についても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動を中止した団体があったことから、令和元年度以降の実績が低くなっています。また、活動する会員の高齢化等を理由に活動をやめる人、解散する団体があることも減要因となっています。



「発表会等行事参加団体数」「参加者数」とともに増減を繰り返しつつも上昇傾向であり、令和元年度には目標値を一旦上回りましたが、コロナ禍の影響があった令和2年度については低い実績となりました。



「福祉ボランティアの活動件数」については、関係団体数が伸びず、増減を繰り返していましたが、令和2年度はコロナ禍の影響により活動が制限されたことため、極めて低い実績となりました。

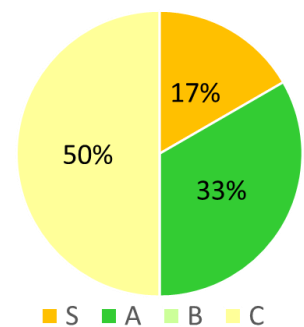
「シルバー人材センター」の登録会員数については、近年、雇用延長等に伴い高齢者の就労の場が多様化していることから、低い実績値となっておりますが、目標値に近い数値で推移しています。

◆令和2年度における基本的施策の評価まとめ

達成度	S	A	B	C	合計
施策の件数	2件	4件	0件	6件	12件
評価別件数割合	17%	33%	0%	50%	100%

達成度の凡例
 S：達成割合 $\geq 100\%$
 A： $100\% > \text{達成割合} \geq 80\%$
 B： $80\% > \text{達成割合} \geq 60\%$
 C： $60\% > \text{達成割合}$

基本的施策の評価は、S及びAの割合合計が50%と、例年より低い結果となりました。「①健康づくりの支援」「②生きがいくりの支援」とともにコロナ禍の影響を受けたC評価の項目が多く、比較的影響が少なかった項目がS又はA評価となっています。「要介護（要支援）認定を受けていない高齢者の割合」についてはA評価であるものの、目標値と実績値の乖離の幅が広がっており、今後一層の介護予防事業の充実が必要と考えられます。



【第2期総合戦略の推進に向けて】

いずれの施策においても、目標達成のためには、市民への施策の周知、実績値が低く留まっている要因を的確に把握した上での施策の内容見直し検討等が必要となります。

第2期総合戦略は、第1期総合戦略における基本目標等の達成状況を踏まえ、基本目標等を踏襲し、新たな視点を加え策定しています。今後も、第2期総合戦略に沿って、本市が目指す将来像「みんなで育む 笑顔輝く ずっと住みたいまち」の実現に向けた取組を計画的に推進していきます。

第2期みよし市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI一覧

※ KPI(Key Performance Indicatorの略)・・・「重要業績評価指数」ある目標の達成のための過程を測定する指標。

・・・目標値との間に乖離が見られた項目

基本目標	基本的施策	頁	数値目標・KPI	令和元年度 (基準値)	現状						令和7年度 (目標値)	所管
					令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和7年度末		
Ⅰ安心して子育てできる環境づくり		10	合計特殊出生率(単年)	1.52人(H30)	1.66人(R1)						1.60人	健康推進課
			出生数	546人	494人						570人	市民課・企画政策課
	①結婚・子育てに関する支援	12	保育園待機児童数	19人	12人						0人	子育て支援課
			みよびよ登録者数	1,033人	1,432人						2,650人	子育て支援課
			乳幼児健診の受診率	97.8%	97.5%						98.0%	健康推進課
			乳児家庭訪問の割合	94.2%	92.7%						95.0%	健康推進課
	②学校教育の充実	13	学校が楽しいと思う児童の割合	92.0%	92.0%						95.0%	学校教育課
			学校が楽しいと思う生徒の割合	88.5%	89.5%						90.0%	学校教育課
			タブレット端末を活用した授業が分かりやすい・楽しいと感じる児童の割合	—	—						85.0%	学校教育課
			タブレット端末を活用した授業が分かりやすい・楽しいと感じる生徒の割合	—	—						85.0%	学校教育課
			不登校児童出現率	0.8%	1.0%						0.5%	学校教育課
			不登校生徒出現率	3.4%	4.5%						3.0%	学校教育課
	③仕事と生活の調和に関する支援	14	産後ホームヘルプの利用者数	9人	14人						15人	健康推進課
			産後ケアの利用者数	28人	14人						30人	健康推進課
			要支援者の支援プラン作成者数	324人	313人						320人	健康推進課
			ファミリーサポートセンター利用者数	328人	274人						550人	子育て支援課
			放課後児童クラブ待機児童数	15人	0人						0人	子育て支援課
		15	転入・転出人口比率	95.0%	105.7%						106.0%	市民課・企画政策課
			生産年齢(15～64歳)人口比率	66.7%	66.7%						66.2%	市民課・企画政策課
	①多様な世代を誘引する仕組みづくり	16	暫定用途地域の面積	34ha	29.00ha						6ha	都市計画課
			起業・創業件数(市が支援した)	7件	3件						10件	産業課
			就労者数(ジョブサポートを通じた)	200人	186人						210人	産業課

基本目標	基本的施策	頁	数値目標・KPI	令和元年度 (基準値)	現状						令和7年度 (目標値)	所管
					令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	令和7年度末		
Ⅱ 暮らしたい と思える環境 づくり	②公共交通ネットワークの 確保	17	公共交通全体の年間利用者数 (名鉄電車、名鉄バス、さんさんバス、 ループバス、乗合・一般タクシーの利用 者)	3,130,928人	2,260,904人						3,170,000人	企画政策課
			さんさんバスの年間利用者数	280,590人	210,748人						321,000人	企画政策課
	③安全・安心なまちづくり	18	市内での火災出動件数	20件	26件						18件	防災安全課
			防災訓練参加率	28.2%	12.4%						30.0%	防災安全課
			防災講座参加人数	234人	69人						300人	防災安全課
			市内での犯罪発生件数	348件	322件						300件	防災安全課
			防犯パトロール隊員数	1,618人	1,603人						1,650人	防災安全課
			市内での人身交通事故件数	198件	157件						180件	防災安全課
			歩行者保護モデルカー活動事業の事業 所数	38事業所	37事業所						50事業所	防災安全課
	④魅力と活力のあるまちづ くり	20	観光客数	122,000人	0人						124,500人	産業課
			ふるさと納税の寄附件数	361件	1,473件						1,000件	財政課
			食育の普及に関する事業・活動数	102事業	98事業						118事業	産業課
Ⅲ 誰もが健 康に暮らせる 環境づくり		21	健康寿命(男性)	81.16歳	81.07歳						81.20歳	健康推進課
			健康寿命(女性)	84.89歳	85.74歳						85.00歳	健康推進課
			成人のスポーツ実施率の割合	42.5%	45.8%						65.0%	スポーツ課
	①健康づくりの支援	22	健康アプリ登録者数	—	142人						1,000人	健康推進課
			介護予防教室の参加者数	10,369人	4,945人						10,900人	長寿介護課
			認知症カフェの箇所数	5か所	5か所						8か所	長寿介護課
			総合体育館トレーニングルームの年間 利用者数	18,528人	8,659人						20,000人	スポーツ課
			市民1人あたりの公園面積	14.94㎡	16.34㎡						16.20㎡	公園緑地課
	②生涯活躍できるまちづく り	22	認知症サポーターの養成延べ人数	18,465人	19,231人						27,500人	長寿介護課

みよし市SDGsオリジナルロゴマーク制作事業について

1. みよし市SDGs推進プロジェクトチームについて

- (1) 設置時期
令和2年5月
- (2) チーム員
主任主査級、主査級を中心に19人の職員で構成
- (3) 主な取組内容
ア 令和2年度：SDGsの理解促進とSDGsをテーマとした取組内容の提案
イ 令和3年度：「みよし市SDGsオリジナルロゴマーク制作事業」の実施

2. 活動状況について

プロジェクトチーム員をA～Dの4班に分け、令和2年度第3回推進本部会議（令和2年11月9日開催）において各チームによるプレゼンテーションを実施、Bチームから提案のあった「みよし市SDGsオリジナルロゴマーク」の制作事業を採択事業として決定しました。

(1) 令和3年度プロジェクトの実施状況

イベント	開催日	主な内容
第1回会議	4月26日	学校投票、ロゴ募集、市民投票の方法検討
第2回会議	5月17日	学校投票、ロゴ募集方法の決定
6月1日から6月25日まで ロゴマーク募集 → 一次選考の実施		
第3回会議	7月6日	一次選考確認、市民投票方法決定、冊子検討、投票箱作成
7月15日から7月20日まで 市内小中学校（ペットボトルキャップ）投票		
8月1日から8月25日まで 市民（ウェブ、ペットボトルキャップ）投票		
第4回会議	8月30日	二次選考状況等の報告、マーク活用方法の検討、冊子確認
本部会議	9月1日	ロゴマークの最終決定

3. みよし市SDGsオリジナルロゴマークの募集状況について

- (1) 募集期間
令和3年6月1日(火)から6月25日(金)まで
- (2) 応募資格
誰でも可
- (3) 応募方法
みよし市ホームページ（あいち電子申請システム）から応募
- (4) 応募件数
199点（市内在住・在勤者の作品103点、それ以外96点）



令和3年度 第1回みよし市まち・ひと・しごと創生会議（書面開催）資料

資料2

4. 一次選考について

- (1) 審査方法
プロジェクトチーム員が、下表の5項目の着眼点による作品評価を行い（1項目につき10点満点）、それぞれ付した点数の平均点により算出した数値（小数点以下切捨て）を評価点としました。

ア コンセプト	市のコンセプトを理解して制作されたものであるか。
イ 魅力	みよし市の魅力を市内外に効果的にPRできるものであるか。
ウ シンボル性	市民に親しみやすく、利用を促進しやすいものであるか。
エ 独創性	オリジナリティがあり、また、インパクトのあるデザインであるか。
オ デザイン性	デザイン性に優れ、様々な条件で印刷又は使用されることが考慮されているか。

(2) 候補作品に関する著作権の確認について

Google でキーワード及び画像を指定して調査（検索）を実施。

キーワードで検索する際には「著作権」「イラスト」などを組合わせて検索しました。

【調査（検索）の内容】	
ア	自治体、民間企業等のSDGsに関するロゴマークを検索 → 類似作品なし
イ	候補作品①についての検索ワード 「提灯」「大提灯」「きつね」「きつね シルエット」「まつり」
ウ	候補作品②についての検索ワード 「カヌー」「パドル」「笑顔」「スマイル」「波」「渦」
エ	候補作品③についての検索ワード 「花火」「太陽」「松（クロマツ）」「松の葉」「ライオン」「針」「カヌー」「パドル」

→上記ア～エの調査の結果、今回の候補作品の中に第三者の著作権やプライバシー権等の権利を侵す可能性があるものは見つかりませんでした。

(3) 最終候補（3作品）

①



コンセプト

みよし市に住んでいる全員が誇りと愛情を込めて「世界一住み続けたい」といえるまちを目指すため、三好大提灯まつりのシンボルである世界一の大提灯をロゴのモチーフにしました。みよし市への愛を表現した、可愛いハートとキツネもポイントです。ロゴの下部分には、SDGsの推進によってみよし市にさまざまな「いいじゃん」があふれ、それがより長く、より良いまちの発展につながっていく様子が思い浮かぶキャッチコピーを入れました。

②



コンセプト

みよし市の特徴であるカヌーのパドルと笑顔をモチーフに、パドルで起こした波が笑顔を生むというコンセプトでデザインしました。パドルと波のデザインは自分で潜がないと波を起こすことはできないので一人一人に自発的な行動を求める意味を、笑顔のデザインは何のためにSDGsに取り組むかというところで、SDGsの行動はみんなが笑いあう未来のためという意味を込めています。

③



コンセプト

市の木であるミカワクロマツの葉、三好池まつりのメモリアル花火をイメージして描きました。円形に広がる様からSDGsの推進と全国発信を表わしています。

5. 市内小中学校におけるペットボトルキャップ投票の実施について

(1) 投票期間

令和3年7月15日(木)から7月20日(火)まで

(2) 投票方法

各家庭から持参したペットボトルキャップを、各自好きな作品の投票箱に投票



(3) 児童生徒への周知及び啓発

回収したペットボトルキャップについては、リサイクル業者に持ち込みをし、リサイクル収益金を世界の子どものワクチン接種に役立てること、あわせて今回のペットボトルキャップ回収がSDGsの取組につながることを児童生徒に事前啓発しました。

また、緑丘小学校については、学校からの依頼に応じて企画政策課職員によるSDGs出前授業を実施しました。



6. 市民投票の実施について

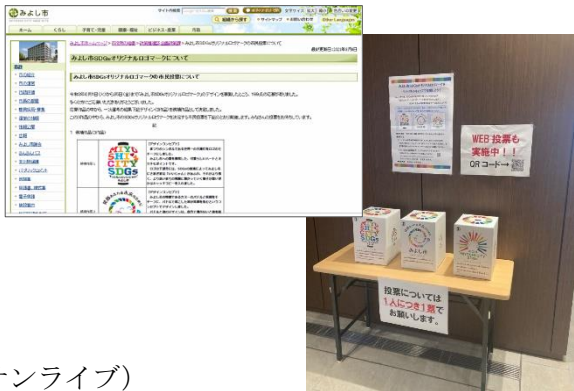
(1) 投票期間

令和3年8月1日(日)から8月25日(水)まで
(ペットボトルキャップ投票は8月3日(火)から)

(2) 投票方法

ア ウェブ投票

イ ペットボトルキャップ投票(市役所・サンネット・サンライブ)



7. 投票結果について(「5. 小中学校投票」と「6. 市民投票」の合計)

	作品①	作品②	作品③	
作品名				合計
得票数	6,269 票	2,925 票	6,983 票	16,177 票
得票率	38.7%	18.1%	43.2%	100.0%

→以上の結果から、候補作品③をみよし市オリジナルロゴマークとして決定しました。

8. 今後の展開について

(1) 決定作品の発表

令和3年10月1日

(広報みよし10月号折込冊子、市ホームページを始めSNSで公表予定)



(2) 市民への周知等

広報みよし10月号において「SDGs特集号」を折込み、全戸配布予定。ロゴマークの決定についても特集号内に掲載します。

(3) ロゴマークの活用方法

ポロシャツ、マスク、ネームホルダー等の職員が着用するグッズへの挿入、市民啓発備品への挿入等